

ちよとぞいしよ

わがまち散歩

道すがら、心通わす人がいる
古里の温もりに包まれながら
あちらこちら、わがまち散歩



東無田八幡宮に集まった地域の皆さん。すてきな笑顔ばかり!

曇りがちな冬の空にも、胸のすくようなスカイブルーが広がる日があります。そんな朝は、何かいいことがあるような予感がします。
今回の散歩は東無田・櫛島地区。元気いっぱいたくさんの笑顔に出会いました。

東無田八幡宮で餅つき

令和3年12月5日の日曜日、天気は空高く澄んだ日本晴れ。朝から、東無田八幡宮には元気な声が響き、再興された本堂が鎮座する境内では餅つきが行われていました。

「よいしょ! よいしょ!」の掛け声に合わせて、大人や子どもたちが、きねを振り上げます。白の中に湯気をまとった餅がつき上がると

今度は、作業台で餅を丸めます。境内の一角では男性陣がしめ縄づくり。まるで年末のような光景ですが、実はこの集まりには理由がありました。

イベントを主催していたのは「東無田・下原まちづくり協議会」。「熊本地震でお世話になったボランティアや支援してくださった方々に、地区のみんなでもち米を栽培してお届けしようと始まった『東無田賑わいづくり』の企画です」と会長の坂田英夫さん(61)。



上/境内では元気に餅つきが行われ、少年も楽しく参加



大人も子どもと一緒に、つきたての餅を丸めます



被災直後から支援してくれた「グリーンコープ生協くまもと」の高濱千夏たかはしちかさんに、もち米を贈呈する坂田さん



一角では男性陣がしめ縄づくり。見事なしめ縄が完成しました